

国語表現概論(Introduction to Japanese Language and Communication)

担当教員名	善塔 正志	
学科・専攻、科目詳細	都市システム工学科 5年 前期 2単位 学修単位 講義	
学科のカリキュラム表	一般科目 選択科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 人文科学・社会科学系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-2(20%) E-1(80%)
	JABEE基準1(1)	(a)(f)
科目的概要	<p>エントリーシート・履歴書・レポート・論文など、目的の異なる様々な文章(文書)表現について、それぞれの特徴や注意点等を概説する。</p> <p>各自、材料を事前に準備し、制限時間内で適切に書く練習を行い、明らかになった問題点を克服し、豊かで正しい表現力を獲得することを目的とする。</p>	
テキスト(参考文献)	テキストは使用しない。適宜、プリントを配付する。	
履修上の注意	本科目は、授業で保証する学習時間と、予習・復習及び課題レポート作成に必要となる標準的な自己学習時間の総計が、90時間に相当する学習内容である。	
科目的達成目標	<p>(1) 日本語表現の特徴と、文法・語彙を学ぶと共に、幅広い知識と教養、感性を養い、洗練された日本語表現ができること</p> <p>(2) 日本語の文章を批判的に検討し、それについて意見を持つことで論理的な思考力と表現力を養い、また自らの文章表現力を向上させ、意見書・提案書等で、説得力のある日本語表現ができること</p> <p>(3) 日本語表現上の様々な規則や文法事項を理解し、実践的な表現力を養い、各種様式・目的に応じた文書作成ができるようになること</p>	
自己学習	<p>(1) 課題毎に、事前の考察と、関連する必要事項を調べ、問題点を具体的に整理すること</p> <p>(2) 課題毎に必要となる形式や注意点を調べて理解すること</p>	
目標達成度(成績) の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	<p>定期試験(50%)、小テスト・レポート等の平常点(50%)で評価し、60%以上の得点を合格とする。</p> <p>(1) については小テスト、定期試験で理解力をはかる (2) については、レポートによって到達度を評価する (3) については、定期試験とレポートで評価する レポートの課題は以下を予定する。</p> <p>(1) 履歴書・エントリーシートなどの自己PRに関係するもの (2) 様々なテーマ・出題形式による文書・小論文</p>	
連絡先	zentoh@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週 オリエンテーション	1 授業の概要 2 テーマ・意図・構成・推敲について
第2週 履歴書・エントリーシート	1 データ部の書き方・自己PR部の書き方・材料収集・効果的表現（記号・構成など） 2 テーマ・事例の検討
第3週 志望理由書・研究計画書	1 志望理由書について 2 研究計画書について
第4週 小論文1	1 テーマ：地域貢献・インターンシップ・環境 2 材料収集・構成
第5週 小論文2	1 テーマ：経済・科学技術 2 材料収集・構成
第6週 報告書・レポート1	1 別記書き 2 図表・レイアウト
第7週 テーマ別問題点の整理1	1 内容面の問題点 2 表現面の問題点
第8週 中間試験	
第9週 テーマ別問題点の整理2	1 テーマの背景 2 問題の進展性
第10週 報告書・レポート2	1 企画書・提案書 2 プрезентーション
第11週 研究テーマと問題設定	1 テーマ・問題の設定 2 自己分析
第12週 論文1	1 計画書 2 構成
第13週 論文2	1 表記上の注意 2 文献表
第14週 論文3	1 調査・研究・意義 2 中間報告・審査会・質疑応答
第15週 課題と整理	1 問題点の課題と整理 2 まとめ
期末試験	